

平成 3 0 年度使用
小学校用 (道德) 教科用図書

- 1 調査研究報告書 (⑥)
- 2 調査研究報告書 (⑤)

調査研究報告書 ⑥

道徳

発行者の番号 略称	書名	教育基本法、学校教育法 及び学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東 書	あたらしいどうとく 1 新しいどうとく 2 新しいどうとく 3 新しいどうとく 4 新しい道徳 5 新しい道徳 6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、各学年の学習や生活に関連付けて、考えを深めるために「付録」が設けられている。 ・学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に学習の進め方が示されている。巻末に学習の振り返りが設けられている。教材ごとに学習の手がかりが示されている。 ・学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、福祉体験やボランティア体験などの体験活動との関連をはかる場面が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【発問や話し合い等に関すること】 ・教材の前に道徳で学ぶ内容を示した内容項目のマークと教材名の右横に学習のテーマを示している。 ・教材の後に、教材に関わる発問と道徳的価値を自分との関わりで考える発問がある。 ・人とかかわりて考えることができる「出会う・ふれあう」を全学年に2か所ずつ掲載している。 【いじめ防止に関すること】 ・2つの教材を組み合わせた、ユニット形式を取り入れている。「とびらのページ」でいじめについて投げかけ、主体的に考えることを促す工夫がされている。 ・直接的教材・間接的教材と学んでいくことで、複数時間で考えることができるようにしている。 【現代的な課題に関すること】 ・情報モラル、食育、健康教育、防災教育、福祉に関する教育、社会参画に関する教育、伝統文化教育、国際理解教育、キャリア教育、持続可能な発展についての課題を掲載している。 【言語活動に関すること】 ・巻頭の「道徳の学習をすすめるために」のページには、話し合いの約束が示されている。 【川崎教育プランに関連すること】 ・人との関わりの中で考えることができる学習活動ページ「出会う・ふれ合う」は、基本目標の「共生・協働」に関わると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【学習の進め方に関すること】 ・巻頭には、学習の進め方が示されている。「気づく」「かんがえる、はなしあう」「ふりかえる、見つめる」「生かす」の4つで道徳の流れをつかむことが示されている。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 ・全学年を通しての重要指導内容「節度、節制」「親切、思いやり」「規則の尊重」「生命の尊さ」「自然愛護」としている。 ・各学年の重要指導内容を低学年では「善悪の判断、自律、自由と責任」「礼儀」、中学年では「善悪の判断、自律、自由と責任」「友情、信頼」「希望と勇氣、努力と強い意志」「勤労、公共の精神」、高学年では「希望と勇氣、努力と強い意志」「友情、信頼」「勤労、公共の精神」「よりよい学校生活、集団生活の充実」「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」「国際理解、国際親善」としている。 【挿絵や写真に関すること】 ・教材への関心が高まるよう、大きく掲載しており、余白を確保している。 【各教科等との関連に関すること】 ・巻末の付録に各教科等と関連した内容を掲載している。 【家庭や地域との連携に関すること】 ・各学年で家族や地域活動に関する題材を取り上げている。 【記入や記録に関すること】 ・巻末に「学習のふり返り」の欄があり、授業の中で印象に残ったことなどをメモしておくようになっている。巻末の「かがやくじぶんに」では、1年間の振り返りと新しい学年への思いが書けるようになっている。 【判型に関すること】 ・AB判を採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 ・漢字は、国語科の配当学年に準じて、原則として当該学年の前までの配当漢字を使用している。 ・書体は、独自に開発した少し太めの教科書体を使用している。 【内容項目や主題の示し方】 ・教材の前に、道徳の内容の4つの視点のマークと内容項目を児童のわかりやすい言葉で示している。 【読みやすさ】 ・見開きで始まる教材と左側から始まる教材とがある。 ・教材によって文字の大きさが違う。 ・1ページを2段で示している教材もある。 ・1、2年では、教材本文をまとまりごとに改行(文節改行)している。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 ・全ページにわたって配色や色に関わる表現を点検し、全ての児童が支障なく学習できるように配慮している。 【マークやキャラクターに関すること】 ・内容項目との関連を示したマークがある。 ・学習をガイドするキャラクターがある。
11 学 図	かがやけみらいしょう がっこう どうとく 1ねん よみもの かがやけみらいしょう がっこう どうとく 1ねん かつどう かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 よみもの かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 かつどう かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 読みもの かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 活動 かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 読みもの かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 活動 かがやけみらい 小学校 道徳 5年 読みもの かがやけみらい 小学校 道徳 5年 活動 かがやけみらい 小学校 道徳 6年 読みもの かがやけみらい 小学校 道徳 6年 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、今日的な課題や命について等の多様な「コラム」が設けられている。 ・学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に学習の進め方が示されている。読み物と併用する別冊ノートには「考えよう」「見つけよう」「話し合ってみよう」等の学習の手がかりが示されている。 ・学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、別冊ノートに、「みんなにありがとうをつたえよう」など、行動を促し考える場面が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【発問や話し合い等に関すること】 ・教材の前に内容項目と主題名を示している。 ・「読みもの」と「活動」の2分冊で構成されている。「活動」の発問には、「やってみよう」「はなしあおう」「かいてみよう」など、具体的な発問を設定している。 ・「アクティブ」のマークを重ね、対話的・協働的な学習を取り入れるようにしている。 【いじめ防止に関すること】 ・「いじめ」という直接的な表現を多用することなく、日常生活で起こりうる状況から、児童自身が問題点を見だし、感じ、考え、判断する教材内容になるよう配慮している 【現代的な課題に関すること】 ・情報モラル、防災教育、福祉に関する教育、伝統文化教育、国際理解教育、キャリア教育についての課題を掲載している。 【言語活動に関すること】 ・「活動」の中に、他教科の学習で生きる様々な言語活動を盛り込んでいる。 【川崎教育プランに関連すること】 ・未来に希望をもち、明るく強い心を育てる教材として、先人の伝記、自然、伝統と文化、スポーツを題材として配している。これらの教材が、基本理念に関わると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【学習の進め方に関すること】 ・各学年の「読みもの」の巻頭に、ガイドンスページ「道徳の学習を始めよう」を配置し、道徳学習(指導)の基本が示されている。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 ・1、2年「善悪の判断、自律、自由と責任」「節度、節制」「親切、思いやり」「礼儀」「規則の尊重」「生命の尊さ」、3、4年「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「友情、信頼」「規則の尊重」「生命の尊さ」、5、6年「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「相互理解、寛容」「規則の尊重」「よりよい学校生活、集団生活の充実」「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」「国際理解、国際親善」「生命の尊さ」を各学年の重点項目にしている。 ・「生命の尊さ」をどの学年でも重点扱いとしている。 【挿絵や写真に関すること】 ・「活動」では、「読みもの」に関連した写真やイラストを用いている。 【各教科等との関連に関すること】 ・国語、社会、理科、家庭、音楽など、他教科と関連する題材を積極的に取り入れている。 【家庭や地域との連携に関すること】 ・「活動」の巻末に、「保護者の方へ」のページを設けて学年の学習内容を解説している。 【記入や記録に関すること】 ・「活動」には、書き込み欄や日々の記録を記入する欄がある。 【判型に関すること】 ・AB判を採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 ・学年配当漢字には全てふりがなを付け、配当外漢字についてはその都度ふりがなを付けている。 ・標準的な教科書体を使用している。 【内容項目や主題の示し方】 ・「読みもの」の教材の初めには、内容項目と主題を示している。 【読みやすさ】 ・見開きで始まるようになっている。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 ・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ページにわたり配色とデザインに配慮をしている。 【マークやキャラクターに関すること】 ・道徳の内容を視点を示すマークがある。 ・授業での扱いを明示するマークがある。

発行者の番号 略称	書名	教育基本法、学校教育法 及び学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	小学どうとく1 はばたこ うあすへ 小学どうとく2 はばたこ う明日へ 小学どうとく3 はばたこ う明日へ 小学どうとく4 はばたこ う明日へ 小学道徳5 はばたこ う明日へ 小学道徳6 はばたこ う明日へ	・教育基本法に示されている「豊かな情操と 道徳心を培うこと」に関連して、話し合いを 深めるための投げかけをする「ジャンプ」が 設けられている。 ・学校教育法に示されている「主体的に学 習に取り組む態度を養うこと」に関連して、 巻頭に道徳の授業について説明されてい る。内容項目ごとに考える視点を示され、教 材の終わりに学習の手がかりとなる「学びの 手引き」が設けられている。 ・学習指導要領の主な改善事項である「体 験活動の充実」に関連して、各学年に 「やってみよう」があり、役割を演じたり、実 際に行動を促したりする場面が設けられて いる。	【発問や話し合い等に関すること】 ・内容項目ごとに導入を配置している。 ・教材の後には「学びの手引き」が設けられており、価値への問い、今後の 行動への示唆など価値理解を深める設問となっている。 ・スキルとして、体験を通して、人としての行いについて考えを深めること ができるようにしている。 【いじめ防止に関すること】 ・いじめに関わる教材であることを巻末の学習内容一覧に示している。 【現代的な課題に関すること】 ・情報モラル、食育、福祉に関する教育、伝統文化教育、国際理解教育、 キャリア教育、持続可能な発展についての課題を掲載している。 【言語活動に関すること】 ・道徳の時間のみならず、他の教科等での多様な教育活動の中で、言語 活動を充実させ、一人一人が自由にのびのびと自己を語れるような配慮 をしている。 【川崎教育プランに関連すること】 ・生命を尊重する態度を育てていることを重視している。「生きることの素晴ら しさ」や「命が多くの人に支えられていること」などを考えることは、基本理 念と関わると考える。	【学習の進め方に関すること】 ・授業の流れを想定した「学びの手びき」が教材ごとに設けられている。 教材本文につながる問いから、道徳的価値そのものへの問い、今後の 行動への示唆などが示されている。児童の予想される回答も記載して ある。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 ・情報モラルと生命尊重は、それぞれ別のマークで示し、重点的に扱う ようにしている。 【挿絵や写真に関すること】 ・挿絵や写真など大きく表し、ゆったりとした紙面としている。 ・挿絵や写真は、いずれも鮮明かつ明るいものを採用している。 【各教科等との関連に関すること】 ・1年は4本、2～6年は5本の補充教材を用意している。補充教材を各 学校の教育活動の実態に合わせて活用することによって、他教科との 関連を図ることも考えられている。 【家庭や地域との連携に関すること】 ・家庭、地域における児童の生活場面を題材とした教材を取り上げて いる。 【記入や記録に関すること】 ・巻頭に今の自分について書く欄がある。巻末に1年間の道徳の学習 を振り返って記入する欄がある。 ・スキルの教材では記入の欄がある。 【判型に関すること】 ・AB判を採用している。	【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮 名遣い等)】 ・当該学年以上の配当漢字には、ふりがなが付けられて いる。 【内容項目や主題の示し方】 ・教材の前には、導入の言葉が示されている。内容項目 に関わる言葉が示されている。 【読みやすさ】 ・見開きで始まる教材と左から始まる教材とがある。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 ・多様な色覚の児童に対応できるように配色・デザイン に配慮している。 【マークやキャラクターに関すること】 ・マークによる分類と識別を図っている。内容の視点ご とにマークがある。「命を大切にす」「みんなと仲よくす る」「情報モラルについて理解する」のマークがある。
38 光村	どうとく 1 きみが いち ばん ひかるとき どうとく 2 きみが いち ばん ひかるとき どうとく 3 きみが いち ばん ひかるとき どうとく 4 きみが いち ばん ひかるとき 道徳 5 きみが いち ばん ひかるとき 道徳 6 きみが いち ばん ひかるとき	・教育基本法に示されている「豊かな情操と 道徳心を培うこと」に関連して、巻頭に、児 童が話し合い考えを深めることができるよう 「道徳の時間」が設けられている。 ・学校教育法に示されている「主体的に学 習に取り組む態度を養うこと」に関連して、 巻頭に学習の進め方が示されている。教材 のはじめに問いかけが示されている。教材 の終わりに学習の手がかりとなる「考えよう」 「つなげよう」が設けられている。 ・学習指導要領の主な改善事項である「体 験活動の充実」に関連して、学んだことを行 動につなげられるよう、教材ごとに「つなげ よう」が設けられている。	【発問や話し合い等に関すること】 ・教材の前には、内容項目を示すマーク、主題名、児童への問いかけが 示されている。 ・教材の後には、めあてを示している。また、「道徳的問題を明らかにする 問い」「道徳的価値について考えを深める問い」「自分に引きつける問い」 の3つの問いを掲載している。 【いじめ防止に関すること】 ・全学年を通して、様々な内容項目から「いじめ問題」に結び付く教材とコ ラムとを組み合わせた「ユニット」が設定されている。これらの教材は、いず れも学年の前半に配当されており、学級づくり等に生かされるように配慮 されている。 【現代的な課題に関すること】 ・情報モラル、食育、健康教育、消費者教育、防災教育、福祉に関する教 育、法教育、社会参画に関する教育、伝統文化教育、国際理解教育、 キャリア教育、持続可能な発展についての課題を掲載している。 【言語活動に関すること】 ・教科書の初めに、児童が主体的に考えられるよう、話し合ったり、書いた り、演じたりする言語活動を位置づけている。 【川崎教育プランに関連すること】 ・道徳の学習全体を通して、最も大切にすべきものとして、「命」を位置付 けている。また、これを端的に表すフレーズとして「みんな 生きている み んなで 生きている」を各巻の冒頭に掲げている。このことは、基本理念と 関わると考える。	【学習の進め方に関すること】 ・教材の冒頭でキャラクターが問いかけることにより導入となるようにして いる。教材の後には、めあてが示されていてそのめあてに沿って道徳 的問題を明らかにする問い、道徳的価値について考えを深める問い、 自分にひきつける問い、テーマ的な問いが示されていて、他教科の学 びや日々の生活へつなげられるようにしている。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 ・全学年通じて生命を大切に思う心の育成に重点を置いている。 ・低学年では「善悪の判断、自律、自由と責任」「節度・節制」「礼儀」 「規則の尊重」、中学年では「善悪の判断、自律、自由と責任」「思いや り・親切」「友情、信頼」「規則の尊重」「よりよい学校生活、集団生活の 充実」、高学年では「相互理解・寛容」「規則の尊重」「よりよい学校生 活、集団生活の充実」「伝統文化の尊重国や郷土を愛する態度」「国際 理解、国際親善」に重点を置いている。 【挿絵や写真に関すること】 ・教材の理解を助け、イメージを豊かに広げる絵・写真を配置している。 【各教科等との関連に関すること】 ・教材末の「学習のてびき」には「つなげよう」が設けられており、他教科 等で学習する内容との関連付けなどが示されている。 【家庭や地域との連携に関すること】 ・第3学年以上コラムには「夏休みに調べてみよう」「冬休みに調べてみ よう」が設けられている。児童が、長期休みの間に自主的な学びに生か したり、家庭での話し合いにつなげたりすることができるようにしている。 【記入や記録に関すること】 ・1年間を4つの「学習のまとめ」に区切り、それぞれのまとめの終わ り、4か所(1年は3か所)に「学びの記録」を設けている。 【判型に関すること】 ・B5判を採用している。	【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮 名遣い等)】 ・教科書のためにデザインされた光村教科書体を用い ている。 ・第1学年では数字以外は漢字表記とせず、平仮名が 用いられている。第2～6学年では、当該学年の配当漢 字に全てふりがなが付されている。 ・教材により文字の大きさが違っているものもある。 【内容項目や主題の示し方】 ・教材の冒頭には、主題が示されている。また、教材を 通して学ぶ道徳的価値とを結びつけるキャラクターの問 いかけがある。 【読みやすさ】 ・見開きで始まる教材と左側のページから始まる教材が ある。 ・1ページを2段で示している教材がある。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 ・第1、2 学年では、児童の読みのつまずきを軽減でき るよう、行頭に助詞が来ないように配慮している。 ・全編を通して見分けやすい配色になっている。また、 色の別だけに頼らず、文字の説明を加えるなどして、色 を見分けにくい児童にも情報が伝わるようにしている。 【マークやキャラクターに関すること】 ・教材の最初と最後に出てくるキャラクターがある。 ・内容の視点を示すマークがある。

発行者の番号 略称	書名	教育基本法、学校教育法 及び学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日 文	しょうがくどうとく いきる ちから 1 しょうがくどうとく いきる ちから 1 どうとくノート 小学どうとく 生きる 力 2 小学どうとく 生きる 力 2 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 3 小学どうとく 生きる力 3 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 4 小学どうとく 生きる力 4 どうとくノート 小学道徳 生きる力 5 小学道徳 生きる力 5 道徳ノート 小学道徳 生きる力 6 小学道徳 生きる力 6 道徳ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、教材の終わりに考えを深めることができるよう「心のベンチ」が設けられている。 ・学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に学習の進め方が示されている。教材ごとに学習の手がかりとなる「考えてみよう」「見つめよう 生かそう」や「学習の手引き」が設けられている。 ・学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、学習の手引きの欄に登場人物になりきって考えたり、役割で演技をしたりしながら考える場面が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【発問や話し合い等に関すること】 ・教材の前には、主題名、導入のための発問例、あらすじ、主な登場人物が示されています。 ・教材の後には、教材に関わる発問と学習で学んだことを確かめる発問が設定されています。 ・別冊の道徳ノートがあり、教材に関わる発問と道徳的価値に関わる発問がありそれぞれについて記入欄がある。 ・「学習の手引き」を設けた教材では、児童の学びと教師の指導の参考例を示している。 【いじめ防止に関すること】 ・いじめの事象そのものの教材だけではなく、「相互理解、寛容」「友情、信頼」「生命の尊重」などの内容項目で扱う教材の中から複数の教材を集約的に扱う構成とすることで、この問題に対する心情や態度の育成を図ろうとしている。 【現代的な課題に関すること】 ・情報モラル、食育、健康教育、防災教育、伝統文化教育、国際理解教育、キャリア教育、持続可能な発展についての課題を掲載している。 【言語活動に関すること】 ・ペアトークやグループトークの学習形態を示している。 【川崎教育プランに関連すること】 ・児童の考えを引き出すための紙面づくりをすることで、主体的な学びにつながるようにしている。児童の主体的な学びは、基本目標の「自主・自律」に関わると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【学習の進め方に関すること】 ・「学習の学び方」のページで、学習方法として、①「気づく」②「考える・深める」③「見つめる・生かす」と示している。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 ・重点指導項目は、複数の教材を掲載している。ここでは1年を例として示す。「善悪の判断、自律、自由と責任」「節度、節制」「個性の伸長」「礼儀」「友情、信頼」「規則の尊重」「公正、公平、社会正義」「よりよい学校生活、集団の充実」「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」「国際理解、国際親善」「生命の尊さ」 【挿絵や写真に関すること】 ・AB判にすることで、大きなイラストや写真を載せている。 【各教科等との関連に関すること】 ・他教科と関連付けるだけでなく、他教科等の学習活動そのものを素材とした教材を開発・掲載している。 【家庭や地域との連携に関すること】 ・「道徳科」がどのような教科でどのような学習をするのかななどをオリエンテーションのページなどで保護者に伝えられるようになっている。 ・道徳ノートには保護者記入の欄がある。 【記入や記録に関すること】 ・別冊の道徳ノートがあり、教材に関わる発問と道徳的価値との関わりで考える発問が掲載され、発問ごとに記入欄がある。友達の考えを書く欄もある。さらに、その時間の学習について「しっかり考えた」「新しく気づいたことがあった」「これから大切にしたいことがわかった」の欄があり○を付けるようになっている。 【判型に関すること】 ・AB版を採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 ・当該学年以上の配当漢字には、すべてふりがながつけられている。 ・文字は、児童が読みやすいように開発された教科書体を使用している。 【内容項目や主題の示し方】 ・主題名を記載している。 ・導入のための発問が示されている。 ・あらすじと主な登場人物が示されている。 【読みやすさ】 ・すべて見開きで始まるようになっている。 ・読みやすい部分で改行している。 ・1ページを2段で示している教材もある。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 ・文字の大きさや書体、罫線や囲みの使い方、色使いなどレイアウトを工夫し、判読しやすくしている。 ・一人一人の色覚の違いを問わず、見やすいように、レイアウトは、色調や色の組み合わせに細部まで配慮している。 【マークやキャラクターに関すること】 ・内容項目との関連を示したマークがある。 ・学習をガイドするキャラクターがある。
208 光 文	しょうがく どうとく ゆたかな ころ 1ねん 小学 どうとく ゆたかな ころ 2年 小学どうとく ゆたかな 心 3年 小学どうとく ゆたかな 心 4年 小学道徳 ゆたかな心 5年 小学道徳 ゆたかな心 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、教材の終わりに学んだことを生活に広げたるための投げかけが設けられている。 ・学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に学習の進め方が示されている。教材の初めに、考える視点が示され、教材の終わりに学習の手がかりとなる「まとめる」「広げる」が設けられている。 ・学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、「みんなでやってみよう」で、友達と協力してできる連想ゲームやロールプレイングを行う場面が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【発問や話し合い等に関すること】 ・教材の前に、この話を通して考えたいことや問いが示してある。脚注に考えるためのポイントや見方が示してある。 ・教材の後には、学習のまとめとしての発問や生活の中でやってみたり深めたりする発問がある。 【いじめ防止に関すること】 ・他者の良さを認め、差別や偏見をもたず、分け隔てなく接する心を扱った教材を用意している。 ・直接的に関わるような教材と間接的に関わるような教材とがある。 【現代的な課題に関すること】 ・情報モラル、伝統と文化、キャリア教育を取り上げている。 【言語活動に関すること】 ・読書活動につながる提案をしている。コラム「ことばのたからもの」では語彙の獲得につながるように名言や格言を紹介している。 【川崎教育プランに関連すること】 ・児童が主体的に学習に取り組めるように、各巻の冒頭に「さあ、道徳の学習が始まります」が配置されている。このことは、基本目標の「自主・自律」にも関わると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【学習の進め方に関すること】 ・教科書の初めに、学習の見通しをもてるように、道徳の学習の流れが示されている。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 ・1・2年「善悪の判断、自律、自由と責任」「節度、節制」「生命の尊重」、3年「規則の尊重」「友情、信頼」「よりよい学校生活、集団生活の充実」「生命の尊重」、4年「規則の尊重」「友情・信頼」「生命の尊重」、5年「相互理解、寛容」「勤労・公共の精神」「生命の尊重」、6年「規則の尊重」「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」「生命の尊重」を学年ごとの重点としている。 ・6年間の見通しをもって取り組む重点として「生命の尊さ」を設定している。 【挿絵や写真に関すること】 ・教科書のサイズを大判化することで、写真やイラストが引き立つようにしている。 【各教科等との関連に関すること】 ・他教科等とのつながりのある教材を精選している。 【家庭や地域との連携に関すること】 ・教材には、家庭での出来事や地域との交流などが取り入れられている。 【記入や記録に関すること】 ・巻末に授業記録の欄があり、毎時間の道徳の授業について、授業を受けた後の気持ちを矢印で示す欄と一言を書く欄がある。 【判型に関すること】 ・A4判に近いサイズを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 ・教材によって文字の大きさが違う。 ・漢字は前学年までに学習した漢字のみを使用している。1から3年は全ての漢字にふりがなをつけている。 【内容項目や主題の示し方】 ・教材の前にこの話を通して考えたいことや問いなどを書いている。 【読みやすさ】 ・全て見開きで始まるようになっている。 ・文節で改行を行い読みやすさに配慮している。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 ・色の区別が苦手な児童にもわかりやすいように、イラストや図表の色使いを工夫している。 【マークやキャラクターに関すること】 ・道徳の内容の4つの視点ごとのマークがある。 ・授業を振り返り、活動へと広げることが示されている「まとめるマーク」と「ひろげるマーク」がある。 ・キャラクターを設定して、発問を投げかけるようにしている。

発行者の番号 略称	書名	教育基本法、学校教育法 及び学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
224 学研	みんなのどうとく1ねん みんなのどうとく2年 みんなのどうとく3年 みんなの道徳4年 みんなの道徳5年 みんなの道徳6年	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、考えを深めるために、「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「ひろげよう」の学びの場面が設けられている。 学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に学習の進め方が示されている。教材の終わりに「つなげよう」「深めよう」「広げよう」等が設けられ、「深めよう」では考え方の流れが示されている。 学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、教材をもとに話し合う活動や役割演技をして心情を理解する活動が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【発問や話し合い等に関すること】 ・主題名を本文の前に記載しないことで、特定の価値観を押し付けることなく、児童の問題意識「問い」を大切にしている。 ・教材の終わりには、教材に関する発問と自己を見つめるきっかけとなる発問が設定されている。 ・「学び方のページ」を設け、多面的・多角的に学んだり、体験的な学習活動で考えたり、自分の生活につなげたり、できるようにしている。 【いじめ防止に関すること】 ・いじめ防止につながる教材を多く設定し、相互理解や人権の観点からも幅広く学ぶことができるようになっている。 ・いじめをテーマに考え議論できる教材と他者と共によりよく生きることについて考え議論できる教材とがある。 【現代的な課題に関すること】 ・情報モラル、食育、健康教育、消費者教育、福祉に関する教育、法教育、社会参画に関する教育、伝統文化教育、国際理解教育、キャリア教育、持続可能な発展についての課題を掲載している。 【言語活動に関すること】 ・巻頭の「道徳の学習が始まるよ」に「語り合い、考えを練ろう」が設けられ、見方を変える、話し合う、表現することについてに説明されている。 【川崎教育プランに関連すること】 ・編集の基本方針である「未来志向」では、夢や希望をもって力強く歩み出すことが示されている。このことは、基本理念と関わると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【学習の進め方に関すること】 ・授業の学び方を紹介するページ、道徳の学びの全体をつかむページがあり、一年間の見通しを持って学習を進めることができる。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 ・重点テーマを「いのちの教育」とし、生命の尊さを重んじ、自立した一人の人間として、人生を他者とともによりよく生きることをねらいとしている。 ・2学年ごとに設定した重点テーマがある。1、2年「しっかり生きる」、3、4年「仲よく生きる」、5、6年「よりよく生きる」 ・重点テーマには中扉が付いている。 【挿絵や写真に関すること】 ・教科書のサイズをA4版にすることで、挿絵や資料を豊富に載せている。 【各教科等との関連に関すること】 ・巻末に全ての教材についての各教科等との関連を明記している。 【家庭や地域との連携に関すること】 ・家庭との連携や、集団・社会との関わりを重視した教材を取り入れており、家庭と連携する学習活動を示した箇所、マークを付けている。 【記入や記録に関すること】 ・巻末に1ページ分振り返りの欄がある。4種類ある「学びのページ」内に自分の考えを整理し、深める欄がある。 【判型に関すること】 ・A4判を採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 ・字間や行間にはゆとりがある。 ・漢字は、当該学年以降に配当されている漢字のすべてにふりがながついている。 ・活字は、大きく、見やすい書体(ユニバーサルフォント)を使用している。 【内容項目や主題の示し方】 ・教材の初めに内容項目や主題は表示しないことで、児童に問題意識をもたせ主体的な学びになるようにしている。 【読みやすさ】 ・全てが見開きで始まるようになっている。 ・読みやすさを考えた改行となっている。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 ・児童にとって読み違いが起こりにくいユニバーサルデザインフォントを採用。カラーユニバーサルデザインにも配慮している。 【マークやキャラクターに関すること】 ・色別のインデックスや取組がわかるマークがある。 ・道徳の内容の4つの視点ごとのマークがある。
232 廣あかつき	みんなでかんがえ、はなしあうしょうがくせいのどうとく1 じぶんをみつめ、かんがえる どうとくノート1 みんなで考え、話し合う小学生のどうとく2 自分を見つめ、考える どうとくノート2 みんなで考え、話し合う小学生のどうとく3 自分を見つめ、考える どうとくノート3 みんなで考え、話し合う小学生のどうとく4 自分を見つめ、考える どうとくノート4 みんなで考え、話し合う小学生の道徳5 自分を見つめ、考える道徳ノート5 みんなで考え、話し合う小学生の道徳6 自分を見つめ、考える道徳ノート6	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、「学習を広げる」の中に、考えを深めるために「活動しよう」や「もっと考えよう」等が設けられている。 学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に「学習の進め方」が示されている。教材の終わりに学習の手がかりとなる「考えよう話し合おう」が設けられている。 学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、地域や公共の場所での節度ある行動やボランティア活動の大切さについて考える教材が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【発問や話し合い等に関すること】 ・教材の前には、道徳的価値への方向付けを促す文と内容項目を玉の数と色であわわしたマークを記載している。 ・教材の後には、教材に関する発問と自分との関わりで考える発問が設定されている。また、3年生以上には、めあて、学習を広げることのできる内容も設定されている。 ・別冊の道徳ノートにより、各内容項目における道徳的価値の自覚を深める活動や問いを示している。 【いじめ防止に関すること】 ・人権、いじめ防止に関する教材を掲載し、発達の段階に応じてさまざまな角度から考えられるようにしている。 【現代的な課題に関すること】 ・情報モラル、食育、健康教育、消費者教育、防災教育、福祉に関する教育、法教育、社会参画に関する教育、伝統文化教育、国際理解教育、キャリア教育、持続可能な発展についての課題を掲載している。 【言語活動に関すること】 ・巻頭の「道徳の時間はこんな時間」において、意見の伝え方、聞き方、話し合い方等についての説明がされている。 【川崎教育プランに関連すること】 ・「生命尊重」に重点をおいて編集している。各教材で生命や生きることについて考えられるようにしていることは、基本理念と関わると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【学習の進め方に関すること】 ・道徳の時間について紹介するページを設けている。 ・「考えよう 話し合おう」が教材の後ろにあり、低学年では教材をもとに考える問いや自己に照らして考える問いが掲載されている。中学年と高学年はそれらの問いに加え、学習のめあてが示されている。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 ・「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊さ」を全学年共通の重点項目として各学年3教材を配当している。 ・低学年の「節度、節制」「規則の尊重」、中学年の「規則の尊重」、高学年の「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」を学年別重点項目として各学年2教材を配当している。 【挿絵や写真に関すること】 ・発達の段階に応じてイラストの配置を工夫している。 【各教科等との関連に関すること】 ・各教科における学習内容や他の教育活動との内容的、時期的関連を考慮し、掲載順に取り扱うことで効果的な学習となるように配列をしている。 【家庭や地域との連携に関すること】 ・家族との関わりや家庭での出来事を描いた教材や、地域の人との交流や地域における行事などを題材とした教材を掲載している。 【記入や記録に関すること】 ・別冊の道徳ノートには、内容項目に準じた問いに対する記入欄や、教師の指示で記載内容を決めて使う記入欄があり、自己評価シートが付いている。 【判型に関すること】 ・AB判を採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 ・当該学年の配当漢字を含む未習の漢字にはふりがなをつけている。 【内容項目や主題の示し方】 ・教材の初めに題材へのいざないや道徳的価値への方向付けを促す文を記載している。 【読みやすさ】 ・見開きで始まる教材と左側のページから始まる教材がある。 ・4年までは発達の段階に即したわかりやすい表現を用いている。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 ・色の識別のみによらず、文字情報ははじめとして、マークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるように配慮している。 【マークやキャラクターに関すること】 ・教材の初めに玉の数と色で内容項目の視点を表している。

調査研究報告書 ⑤

道徳

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	あたらしいどうとく 1 新しいどうとく 2 新しいどうとく 3 新しいどうとく 4 新しい道徳 5 新しい道徳 6	【教材に関すること】 ・現在使用している「副読本」とほぼ同じ読み物教材である。 ・藤子F不二雄や多摩川など川崎の子どもたちに身近な題材がある。 ・児童作文や児童を主人公とした作品が多い。 ・肯定的な終りのものが多く、児童は前向きに捉えられそうである。 【現代的課題に関すること】 ・「いじめのない世界へ」は、3つのユニット式の内容になっている。「投げかけ」「間接的な教材」「直接的な教材」の構成である。 ・「情報モラル」や「安全防災教育」について教材が充実している。 【授業の進め方に関すること】 ・学びの視点を教材文の前に書いている。 ・扉にある問いかけが良い。 ・巻頭にある「これから1年間で学ぶこと」で、学習内容が分かる。 ・巻末の「学習のふり返り」は、評価に生かせそうである。 ・教材の最後にキャラクターからの問いがあるので、考えながら読める。 ・「出会う、ふれあう」のページでは、教材で学習した後に、グループワークで学習を進めるようになっていく。 ・「道徳の時間が始まるよ」のページでは、学習の仕方を絵で表している。 【各教科等との関連に関すること】 ・「つながる広がる」のページでは、各教科等との関連が示されている。 ・最後の付録、短歌や先人の言葉がある。→国語の授業とも関連付けられるかもしれない	【構成】 ・教材は縦書きであるが、横書きのページがある。 ・教材のはじめには、内容項目と学習のテーマが示されている。 ・巻末には学習のふり返りを書き込める欄がある。 ・巻末に写真資料があることで、道徳科で学んだ学習を他に広げきつかけにできる。 ・教材の終わりに、内容と自分自身についての発問が1つずつある。 ・巻頭の「1年間で学ぶこと」には、4つの視点の中に内容項目と資料名が記載してある。 【分量】 ・以前からある副読本に劣らない分量である。 ・分量は適切である。 ・分量は少し多く感じた。 ・一つの教材で分量が多いものもある。 【装丁】 ・表紙がやわらかい。 ・イラストや写真が多く使われている。	【表示に関すること】 ・目次が物語順と内容順になっていてわかりやすい。 ・教材の終わりに考えさせたいことが表記されている。 ・背表紙に「保護者に皆様へ」の記載がある ・内容項目の色分けがしてあり、教材の最初に示している。 ・内容項目を子どもがわかる言葉で、題名の右側に掲載している。 ・教材の終わりに、中心発問とふりかえりの問いが記載されている。 【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 ・3年生から6年生では、同じ学年でも文字の大きさが違う教材がある ・行間の広さは読みやすいサイズである。 ・改行位置が工夫されている。 ・字体は読みやすい。 ・1年生はカタカナにもふりがなが付いている。 ・漢字が前の学年までの表記となっている。 【挿絵や写真に関すること】 ・絵や写真がきれいで見やすい。 ・写真イラストが多く、場面のイメージがつけやすい。 ・読み物の内容によって写真やイラストが使い分けられている。 【マークやキャラクターに関すること】 ・内容項目のマークがある。
11 学図	かがやけみらいしょう がっこうどうとく 1ねん よみもの かがやけみらい しょうがっこう どうとく 1ねん かつどう かがや けみらい 小学校 どうとく 2年 よみもの かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 かつどう かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 読みもの かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 活動 かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 読みもの かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 活動 かがやけみらい 小学校 道徳 5年 読みもの かがやけみらい 小学校 道徳 5年 活動 かがやけみらい 小学校 道徳 6年 読みもの かがやけみらい 小学校 道徳 6年 活動	【教材に関すること】 ・児童に身近な内容や童話、スポーツ選手などの偉人の話などが網羅されている。 ・国内、海外、昔、現在の話といろいろあるのがよい。 ・事実に基づいた教材には写真があり、身近に感じることができる。 ・実話と物語とがほどよく入っている。 ・「ワールドカップのごみ拾い」など、日本人の美徳と世界的に評価されていたことが載せられており次世代に受け継がれる良さがある。 ・6年生の内容は実話が多い。 【現代的課題に関すること】 ・「いじめ」に関する資料が充実している。 ・今日的課題を扱ってよい。 【授業の進め方に関すること】 ・教科書が「読みもの」と「活動」の2分冊である。 ・「活動」は、同じ内容項目の教材の手引きが1ページにまとめられているので、合わせて考えることができる。 ・教材名だけでなく、内容項目や主題と一緒に示してあるので、学習すべきことが子どもに分かりやすい。 【各教科等との関連に関すること】 ・他教科との関連づけもされていてわかりやすい。	【構成】 ・見開き2ページで読み切れるもの。又は、4ページで読み切れるものが多い。 ・読み物コラムなど学習に役立てられるページがある。 ・発問が教材にないため、児童の自然な声が聞きやすい。 ・教材ごとに見開きになっている。 ・「活動」は振り返りに活用でき、記録が残るので学習の足跡が見える。 ・場面絵が多く、文と対応させることができる。 ・題名の上に内容項目が示されている。 【分量】 ・「読み物」と「活動」の2冊に分かれていて分量が多い。 ・分量は丁度よい。 ・分量はやや少ない。「よみもの」の方の教科書が薄い。 【装丁】 ・イラストや写真が効果的に使われている。色づかいがやさしい。 ・絵や写真は分かりやすい。 ・判が大きくて、写真や絵、文字などは見やすく読みやすい。	【表示に関すること】 ・教材名が内容項目ごとに色分けされている。 ・教材名の横に主題名が表記してある。 ・「活動」には、ところどころに吹き出しの記入欄がある。 ・「活動」には、保護者向けの道徳の授業の在り方が記載されている。 ・「活動」には発問がある。 【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 ・ふりがなが多くふってある。 ・文字が小さい。 ・発達段階に応じた文字の大きさになっている。 【挿絵や写真に関すること】 ・教材の内容に合わせて、場面絵が工夫されている。 ・挿絵が工夫されていて、場面絵やワークシートの作成に活用できる。 ・カラフルな絵が多い。 ・写真や絵が鮮やかである。 ・写真や絵が大きくて見やすい。 【マークやキャラクターに関すること】 ・「読み物」と「活動」のマークがある。 ・「活動」は、「はなしあおう」「かんがえよう」「みつめよう」というマークがついている。 ・内容項目の視点ごとのマークがある。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	小学どうとく1 はばたこ うあすへ 小学どうとく2 はばたこ う明日へ 小学どうとく3 はばたこ う明日へ 小学どうとく4 はばたこ う明日へ 小学道徳5 はばたこ う明日へ 小学道徳6 はばたこ う明日へ	【教材に関すること】 ・偉人やスポーツ選手を扱った教材が多い。 ・日常生活の内容が多く、物語から考えていく内容のものは少ない。 ・1～3年生「節度節制」に関する教材が多い。4～6年では「伝統文化の尊重 国や郷土を愛する態度」に関する教材が多い。 ・主人公の葛藤がわかりやすい。 ・多摩川などの身近な内容が含まれていた。 ・6年生には先人の優れた業績が世界でどのように評価されているのかといった教材が紹介されている。 【現代的課題に関すること】 ・生命尊重 いじめについて 情報モラルの内容を取り入れている。 【授業の進め方に関すること】 ・教材の終わりにある「学びの手引き」には、道徳の授業における発問が5つから6つ示されている。 ・モラルスキルトレーニングの教材がある。 ・目次に内容項目と教材名が記載されているので、一年間の学習の見通しがもてる。 ・いくつかの教材の後には、「ジャンプ」という項目があり、役割演技のやり方などを説明している。 ・内容項目ごとに考える内容が示してある。 【各教科等との関連に関すること】 ・国際理解や昆虫など各教科との関連をもてそうな内容がある。	【構成】 ・教材の終わりに「学習の手引き」があり、教員は誰もが同じ進め方ができる。 ・教材のはじめに学習のねらいを把握できるような導入が示されている。 ・裏表紙には、内容項目ごとに教材名が示されている一覧がある。 【分量】 ・分量は丁度よい。 ・分量は少ない。 ・分量は多い。 【装丁】 ・サイズがAB判で児童にとって扱いやすい ・表紙の絵からはあたたかさが伝わってくる。 ・本が大きく、絵や写真を効果的に配置している。 ・写真と絵と字のバランスが良い。	【表示に関すること】 ・目次は内容項目ごとに色分けされている。 ・目次は内容項目ごとに教材名が記載されている。 ・内容項目ごとに学習のねらいを把握させる導入がある。 【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 ・字が大きい。 ・3年生以上は、教材によって文字の大きさが異なる。 ・1年生はカタカナにふりがなが付いている。 【挿絵や写真に関すること】 ・写真が多い。 ・挿絵にフェルトや人形を使っている教材もある。 ・挿絵が多い。 【マークやキャラクターに関すること】 ・考えるための手だてとなるキャラクターの吹き出しがある。 ・内容項目のマークがある。
38 光村	どうとく 1 きみが いち ばん ひかるとき どうとく 2 きみが いち ばん ひかるとき どうとく 3 きみが いち ばん ひかるとき どうとく 4 きみが いち ばん ひかるとき 道徳 5 きみが いち ばん ひかるとき 道徳 6 きみが いち ばん ひかるとき	【教材に関すること】 ・児童が知っている物語や人物の教材があるので、なじみやすい。 ・子どもの日常生活に即した内容が多い。 ・実際に学級で起こりそうな内容があり、学級経営に生かせそうである。 ・物語が具体的である。 ・杉原千畝氏やローザパーク氏などの教材は、事実を伝えているので、説得力や現実性がある。 ・6年生は実話や伝記も多く、内容的には充実していると感じる。 【現代的課題に関すること】 ・人権に関する内容が多い。 ・「生命」に関する教材が各学年に3つある。 ・消費者教育 法教育がある。 ・コラムで情報問題やいじめ、福祉など、現代の課題についてとり上げていている。 【授業の進め方に関すること】 ・巻頭には学習方法が示してあり、授業のイメージを持つことができる。 ・教材の終わりに、「めあて」や「問い」が示されており、何を考えなければならぬかが明記されている。 ・1年間を4つのまとまりに分け、まとまりごとに視点の重点化を図っている。 ・「学びの記録」のページがあり、児童が振り返ることができる。 ・教材とコラムを組み合わせたユニットを設定している。 【各教科等との関連に関すること】 ・教材文の後にコラムがあることで、他教科等との関連を図ることができる。 ・社会科や理科の教科と関連付けられそうな内容がある。 ・教材の終わりにある「つなげよう」には、他教科等や日常生活に広げていけるようなキャラクターの投げかけがある。	【構成】 ・巻頭の目次は教材の番号の順番で、巻末は内容項目の順番に教材が並んでいる。 ・他の教科につなげるような構成になっているページがある。 ・教材のはじめに視点を持たせる問いがある。 ・「学びの記録」がふり返りとして有効である。 ・学習する時期が明記されている。 ・文章の終わりに「考えよう」「つなげよう」があり、自分の考えを深めていけるようになっている。 ・2段になっている教材もある。 ・教材の終わりには、発問が記載されている。 【分量】 ・分量は1時間の授業で使うには多い。 ・分量が多い。 ・分量は丁度よい。 【装丁】 ・国語の教科書の文字より小さい。 ・表紙は、最近の子ども向けのイラストで手にとりやすい感じが出ている。 ・色づかいがやわらかめである。	【表示に関すること】 ・導入の問いがふき出しになっている。 ・教材の終わりに、意見交流するための問いがある。 ・「かんがえよう」にはその教材から考えるポイントが示されている。 ・学びの記録のページがある。 ・目次で学習時期についてふれている。 【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 ・文字が小さい。 ・学年の実態に応じた文字の大きさに配慮がしてある。 ・書体やレタリングが国語の教科書と同じようである。 ・強調するところが太字になっている。 ・字体が統一されている。 ・漢字にふりがなが付いている。 ・教材によって文字の大きさが違う。 【挿絵や写真に関すること】 ・写真やイラストが多い。 ・絵と文のバランスがよい。 ・色づかいが鮮やかできれい。 【マークやキャラクターに関すること】 ・学習のまとまりをあらわすしがある。 ・考えのアドバイスをするキャラクターがある。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日 文	しょうがくどうとく いきる ちから 1 しょうがくどうとく いきる ちから 1 どうとくノート 小学どうとく 生きる 力 2 小学どうとく 生きる 力 2 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 3 小学どうとく 生きる力 3 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 4 小学どうとく 生きる力 4 どうとくノート 小学道徳 生きる力 5 小学道徳 生きる力 5 道徳ノート 小学道徳 生きる力 6 小学道徳 生きる力 6 道徳ノート	<p>【教材に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年は児童に身近な内容が多く、高学年は知っておいてほしい人物などが取り上げられている。 ・小学生が主人公となったり、身近にある話を題材にしたりしたものがある。 ・日本に關係の深い外国の話や世界を意識した内容の教材がある。 ・学校行事にあう教材が多い。 ・実在の人物の教材が多い。 ・選択教材がある。 ・「心のベンチ」には、教材に関連した内容などを掲載している。 <p>【現代的課題に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの防止に関する教材がやや多い。 ・情報モラルについての読み物があってよい。 <p>【授業の進め方に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材名の左横に教材の紹介があり、右横に導入のための問いがある。 ・「道徳ノート」にふり返ることができる箇所がある。 ・「道徳ノート」があることで、書く活動に取り組みやすい ・巻頭には道徳の学び方のページがあり、指導しやすい。 ・「学習の手引き」には、学習の進め方や役割演技などの方法が写真付きで紹介されている。 ・教材のはじめや終わりにあるキャラクターの言葉で授業を進めることができる。 <p>【各教科等との関連に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偉人や税金などの内容は、他の学習にもかかわって使える。 	<p>【構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別冊の道徳ノートがあり、自分の考え、友達の考え、保護者の記入欄がある。 ・多くの教材が4ページ以内に収まっている。 ・巻頭に「道徳の学び方」あり、学習がイメージしやすい。 ・教材の終わりに「考えてみよう」「見つめよう 生かそう」あり、学習の流れをつかむことができる。 ・道徳ノートがついていて評価に使うことができる。 ・ふくろうのマークの発問は導入に使える。 ・本時のめあてが読み物の最初に明記されている。 ・題名の所で考えるとあらすじが押さえられていて分かりやすい。 ・目次には現代的な課題としてのまとまりを示している。 ・1ページを2段階に分けて掲載している教材がある。 <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み物とノートで分量が多い。 ・分量が多い。 ・分量が丁度よい。 ・ノートに書かせる分量が多い。 <p>【装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真と絵のバランスがよい。 ・絵ではなく、児童の写真を表紙に使っている。 	<p>【表示に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入のための発問例が掲載されている。 ・教材の終わりに「考えてみよう」「見つめよう 生かそう」の表記がある。 ・巻末に内容項目別一覧表がある。 ・教材のはじめに主題名、あらずじ、登場人物が示されている。 ・道徳ノートに友達の考えを書く欄がある。 ・道徳ノートでは吹き出しを多く用いている。 ・教材は縦書きであるが、「心のベンチ」は横書きである。 ・巻頭には「学習の学び方」を掲載している。 ・道徳ノートには毎時間の学習の振り返りを記入する欄がある。 <p>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文以外の字が多い。 ・ふりがなが付いている。 ・文字は大きめである。 ・字の大きさが教材よって違う。 <p>【挿絵や写真に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙は写真を使っている。 ・色鮮やか。優しい色づかい。 ・絵や写真が多い <p>【マークやキャラクターに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入の発問をするキャラクターがある。 ・キャラクターや記号などいろいろ使っていて分かりやすい。 ・内容項目と関係を示したマークがある。
208 光 文	しょうがく どうとく ゆた かな ころ 1ねん 小学 どうとく ゆたかな ころ 2年 小学どうとく ゆたかな 心 3年 小学どうとく ゆたかな 心 4年 小学道徳 ゆたかな心 5年 小学道徳 ゆたかな心 6年	<p>【教材に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに身近な題材を取り上げている。 ・主人公の葛藤の場面がわかりやすい。 ・知っている著名人のことで書かれているものが多い。 ・名言名句が多い。 ・同じ内容項目で複数の教材を続けて扱っている。 ・日常生活、物語、伝記と様々な内容が入っている。 ・最近話題になっている題材や親しみのもてる題材が多い。 ・実在する人の教材が高学年に多い。 ・日常で起きそうなトラブルを取り上げている。 <p>【現代的課題に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルに関する教材がどの学年にも1話掲載されている。 ・いじめなどの問題については、コラムにも掲載されている。 <p>【授業の進め方に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「この本の使い方」で学び方が説明されており指導しやすい。 ・巻末の「学びの足あと」にある「心の矢印」という項目では、その日の学習に対する児童の受け止め方を知ることができる。 ・巻末の「学びの足あと」には、授業ごとに一言ずつ書くことができる。 ・「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」が示されており、学習をパターン化することができる。 ・資料の前に「資料を通して考えたいこと」が記載されている。 <p>【各教科等との関連に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の教科との関連の図れるものがある。 ・日常生活、物語、伝記とさまざまな内容が入っているので、他教科との関連を図るにはよい。 	<p>【構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文のほかにコラムがある。 ・挿絵の構成がよい。 ・巻末の教材一覧が見やすい。 ・教材の下に考えるためのポイントが示されている。 ・教材のはじめに問いがあり、「まとめる」「広げる」という構成になっている。 ・内容項目ごとに色分けしてある。 ・イラストのほかに、グラフなどが使われている。 ・教材は縦書きであるが、教材の下のキャラクターの吹き出しは横書きである。 ・絵、写真、文字など、構成のバランスがよい。 ・教材によっては見開きで3ページのものもある。 <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文でない他の部分の分量が多いように感じる。 ・分量は多い。 ・分量はよい。 <p>【装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の色づかいがはっきりしている。 ・表紙が明るく、親しみやすい。 	<p>【表示に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材のはじめの主題名の次に考えさせたいことが示されている。 ・教材の後に話し合うことが書かれている ・吹き出しが多い。 ・教材は縦書きで考える視点は横書きである。 ・発問が教材の下段に書いてある。 ・ノートの書き方の例が示されている。 ・巻末の学びの足跡に毎時間の記録を残すことができる。 ・教材の初めや終わりに問いが示されている。 <p>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1から3年生はすべての漢字にふりがなを付けている。 ・1年生はカタカナにもふりがなが付いている。 ・文字が大きい ・字体が違うところがある。 <p>【挿絵や写真に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や写真が多い。 ・色も優しく親しみやすい。 <p>【マークやキャラクターに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目を示すマークがある。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
224 学研	みんなのどうとく1ねん みんなのどうとく2年 みんなのどうとく3年 みんなの道徳4年 みんなの道徳5年 みんなの道徳6年	<p>【教材に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ選手や著名人を題材にしている所が多い。 ・児童にとって身近な出来事が多く掲載されている。 ・物語、伝記、日常生活に関する内容とバランスがよい。 ・低学年では、学校生活の場面絵が多い。 ・高学年へと向かうにつれて、社会とのつながりの感じられる内容も多い。 ・子どもの権利条約についてふれている教材がある。 ・「アメリカから来たサラさん」のように異文化に目を向け、多様性の良さを感じられる教材は今後重要になる。 <p>【現代的課題に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命の教育を全学年の最重要テーマにしている。どの学年にも「生命の尊さ」についての教材が3点用意されていることで、生命の尊さを様々な観点から考えられる。 ・他人を理解し尊重することなど幅広い視点でいじめ防止につながる教材が用意されている。 ・6年生には、インターネット上の会話のやり取りを扱った教材がある。 <p>【授業の進め方に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には道徳の学び方が掲載されている。 ・自分の考えを記入する欄がある。 ・教材の終わりに児童に考えさせたいことが示されている。 ・「学びの足あと」に授業後に心に残ったことを記録することができる。 ・学び方のページである「やってみよう」「深めよう」「広げよう」「ひろげよう」があって授業の工夫ができる。 <p>【各教科等との関連に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に他の教科との関連が記載されている。 ・国語の教材や音楽の授業につなげられそうなものがある。 	<p>【構成に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや意見、理由を書く欄がある。 ・教材の終わりに、「かんがえよう」があり、考えるポイントがわかる。 ・児童の問題意識を大切に構成となっていて、教材文より前に主題名が記載されていない。 ・イラストや写真からも考える要素が見つかる。 ・4つの視点ごとに色分けされている。 ・見開きで展開されていて見やすい。 ・写真やイラストが大きい。 ・文章とイラストの配置に工夫が見られる。 ・「つなげよう」「ふかめよう」があり、児童の考えを広げることができる。 <p>【分量に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分量は丁度よい。 ・分量が多い。 <p>【装丁に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙のイラストがあざやか。 ・写真を大きく掲載している。 ・サイズが大きいので文字がとて読みやすい。 ・写真と絵のバランスがよい。 	<p>【表示に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しい言葉には注釈がついている。 ・巻頭に教材の順番どし示されている目次と巻末に内容項目ごとに教材が示されているページがある。 ・1つ1つの教材に、「考えよう」があり、何を考えるのかが示されている。 <p>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字が大きい。 ・ふりがなが付いている。 <p>【挿絵や写真に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストを多く取り入れている。また写真はワイドにしてある。 ・写真やイラストの画質が鮮明で良い。 ・自然のページには普段見ることのできない大自然の写真が掲載されている。 ・教科書のサイズが大きい分、挿絵がダイナミックである。 ・写真、挿絵が大きくて見やすい。 <p>【マークやキャラクターに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えましょう」「考えたことを書きましょう」などの記号の表記もわかりやすい。 ・内容項目を視点ごとに色分けしたマークがあり、教材名の上に示されている。
232 廣あかつき	みんなでかんがえ、はなしあうしょうがくせいのどうとく1 じぶんをみつめ、かんがえる どうとくノート1 みんなで考え、話し合う小学生のどうとく2 自分を見つめ、考える どうとくノート2 みんなで考え、話し合う小学生のどうとく3 自分を見つめ、考える どうとくノート3 みんなで考え、話し合う小学生のどうとく4 自分を見つめ、考える どうとくノート4 みんなで考え、話し合う小学生の道徳5 自分を見つめ、考える道徳ノート5 みんなで考え、話し合う小学生の道徳6 自分を見つめ、考える道徳ノート6	<p>【教材に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親切・思いやり」「善悪の判断」「責任」が重点項目になっている。 ・子どもにとって身近な内容が多い。 ・物語だけでなく写真つきの伝記などもある。 ・様々なジャンルで活躍する有名人やスポーツ選手を扱った教材が多数ある。 ・伝記、物語、児童の作文、スポーツ選手などバランスよく扱っている。 <p>【現代的課題に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も現代的な課題に関する教材が掲載されている。 ・「生命を尊重する心」を最重点項目とし全学年に「命の教育」に関する特別ページを設けている。 ・人権やいじめ防止、情報モラルに関する題材がある。 <p>【授業の進め方に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「道徳の時間はこのような時間」では、道徳の授業を行っていくうえで必要なことが掲載されている。 ・教材の終わりに記載されている「学習の道すじ」には、めあてが示されている。 ・道徳ノートがついているので、思考の変容を継続的にみとることができる。 ・「考えよう・話し合おう」の部分があり、学習することが明確になる。 ・教材の終わりに記載されている「学習を拡げる」では、その内容項目にあった本が紹介されている。 <p>【各教科等との関連に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に関わる教材や読み物教材などは、各教科との関連を図ることができるものがある。 	<p>【構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳ノート」があるので、ふり返りが記入でき、継続的に記録を残すことができる。 ・「道徳ノート」の背表紙に保護者に向けた言葉がある。 ・「考えよう、話し合おう」があるので活動が明確になる。 ・道徳ノートは内容項目ごとに分けられているため、教科書の複数の教材の振り返りをノートの同じページに行うことになる。 ・巻末には内容項目ごとに教材を分けて示してあるページがあり見通しがつく。 <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分量として多い。 ・分量は丁度よい。 ・活字が多い。 ・道徳ノートの記述欄が多い。 <p>【装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵が大きく見やすい。 ・絵が多く写真が少ないように思う。 ・表紙も見やすくよい。 ・さし絵と文章のバランスがよい。 	<p>【表示に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の終わりにある「学習の道すじ」には、学習のめあてや問いが示してある。 ・道徳ノートには、今日の授業で感じたことや考えたことを書く箇所が2つずつある。 ・巻末に教材ごとの内容項目を示した内容一覧がある。 ・学習を広げる本の紹介がある。 ・教材名の前に道徳的価値への方向付けを促す文が示されている。 <p>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字が少し小さい。 ・文字の大きさは丁度よい。 ・字体全て教科書体である。 ・漢字にふりがなが付いている。 <p>【挿絵や写真に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい絵である。 ・写真やイラストが多く入っている。 <p>【マークやキャラクターに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの視点を色と○の数で表している。